

切土構造物の地質調査：留意すべき地盤

崩壊性地盤

- ・ 地すべり堆積物、崖錐、崩積土、強風化岩など

侵食に弱い地盤、強度低下の顕著な地盤

- ・ 砂質土、海成粘土など

風化が進行しやすい地盤

- ・ 泥岩、凝灰岩、固結粘土など

割れ目の多い岩盤

- ・ 流れ盤状割れ目

地下水の豊富な地盤

その他

- ・ 万が一崩壊した場合に周辺に大きな影響を与える斜面の切土など

切土構造物の地質調査：計画のポイント 検討項目と調査手法（1）

地すべりなどの不安定地形の有無、地質構造

- ・地形判読、地表地質踏査、ボーリング、物理探査など

地盤の工学的特性

- ・標準貫入試験、室内試験など

表層水並びに地下水状況

- ・地表地質踏査、ボーリングなど

切土構造物の地質調査：計画のポイント 検討項目と調査手法（2）

切土面の長期的な安定性

- ・ 災害履歴、類似切土斜面状況など

リップビリティ並びに盛土材料としての適否

- ・ 力学試験、スレーキング試験など

構造物の支持層評価

- ・ 標準貫入試験など

切土構造物の地質調査：計画のポイント 段階的調査と調査手法の合理的な組合せ

概略調査・予備調査

- ・地形判読、地表地質踏査、資料調査など。地すべりについては、必要に応じて詳細調査を先行

詳細調査（一次）

- ・物理探査、ボーリング、地下水調査など。地形地質特性を把握し、切土勾配やのり面保護工の内容を検討

詳細調査（二次）

- ・切土工の詳細設計のための調査を実施

施工中～施工後の調査

- ・のり面観察、計器観測、点検など。変状の有無や程度を把握し、変状が発生した場合などは詳細調査を実施して対策を検討

切土構造物の地質調査：計画のポイント 関連基準、法令と積算時の留意事項

関連基準・法令など

- ・ 日本道路協会：道路土工-切土工・斜面安定工指針

積算時の留意事項

- ・ 現地状況に即した仮設費用、諸手続き費用を計上（モノレール運搬、給水費など）
- ・ 解析費用はコンサルティング業務費として積算（物理探査、物理検層、現地計測など）